

登山シーズン到来

新緑や野鳥の声を楽しむ



2022.05.22

タイムスケジュール

- 07:30 受付開始
- 07:40 銀山太鼓
- 08:00 安全祈願祭
- 08:30 登山開始
- 10:00 桑折物産販売



▲山頂で配布された記念
バッジ（数量限定）



町のシンボル半田山（863m）の山開きが5月22日、3年ぶりに開かれました。朝から雨が降りしきる中、約130人の参加者が、美しい新緑の中を、山頂目指し歩きました。

雨が降る音や濡れた草木、かすみがかかった森が、よりみずみずしい新緑を醸し出し、雨ならではの幻想的な登山を体験することができました。

開会セレモニー

半田銀山太鼓銀栗保存会による半田銀山神楽太鼓で始まった開会セレモニーでは、益子神社宮司による安全祈願祭が肅々で行われ、登山者の安全を祈願しました。高橋町長は「あいにくの雨ですが、美しい半田山の魅力を楽しんでください」とあいさつし、登山者を見送りました。



木工体験

天然の木材を使って、イスやキーホルダーなどを作る木工クラブ教室が開かれました。福島地区木材協同組合と福島県もりの案内人の会のスタッフから木材や工具の取り扱いを学び、自分だけの作品を作り上げました。天然素材に触れ合い、森林の大切さを学ぶ機会となりました。



桑折物産販売

参加者に町のグルメを楽しんでもらおうと、小野精肉店、リカーショップ旭屋、町商工会青年部、町振興公社が管理センター前に出店しました。焼きそばや焼き鳥、至福の桃シリーズ、ハートレイクにちなんだハート型のお菓子など、町の「おいしい」を参加者にPRしました。



楽天野球団提供



楽天野球団提供

仙台市の楽天球場
「桑折町一色」に染まる

桑折町冠協賛のプロ野球1軍公式戦・楽天イーグルス対ロッテマリーンズ戦が5月12日、仙台市の楽天生命パーク宮城で開かれ、約100人の町民とともに町をPRしました。

本町の冠協賛試合は、2018年と2019年に開かれて以来3年ぶり。スタジアムの至るところに「意外と近い桃のまち、桑折町」と記されたのぼり旗が立てられ、

3年ぶりにスタジアムを彩る

桑折町一色

東北楽天ゴールデンイーグルス
献上桃の郷 桑折町協賛デー

大型ビジョンなどに町ロゴマークが映し出されるなど、約2万人の観客が集まったスタジアムが「桑折町一色」に染まりました。



5

1 高橋町長と片平議長から太田光選手、田中和基選手へ、町産桃あかつきの目録を贈呈 2 甲冑姿の片平議長による始球式 3 ラジオで球場内外へ町を紹介する高橋町長 4 真剣に見入る町民の皆さん 5 町特産品が当たる抽選会に長蛇の列



6



6 楽天と町のロゴがデザインされた限定うちわを来場者へ配布 7 町ののぼり旗がスタジアムに立ち並ぶ

抽選会、始球式、ラジオなどで町の魅力をPR

スタジアム正面広場に設けられた町ブースでは、町公式LINEを登録した人を対象とした、町産桃などが当たる抽選会や6次化商品などの販売を行い、朝から長蛇の列ができるほど賑わいました。

球団が運営するラジオに高橋町長が生出演し、町の観光や歴史、楽天イーグルスとのこれまでの取り組みを紹介。始球式では、片平秀雄町議会議長が甲冑姿で登場し、伊達氏発祥の地として、仙台との深い関係性をPRしました。

盛大に開かれた桑折町デー。JAや伊達果実農協の職員協力や農産物の提供、福興産業株式会社より観戦チケットの提供をいただくなど、町民や企業団体、町が一体となり「献上桃の郷」桑折町の魅力を発信しました。